Klub Zukunft
－ 古今東西の文化を探求する集団 －

2025 年 7 月 1 日

会員各位

第２２７回

Klub Zukunft 月例会

－歴史・文化に親しむ会－

梅雨に入り、鬱陶しい日々が続いておりますが如何お過ごしでしょうか?
さて、令和 7 年 7 月の第 227 回月例会は、神戸大学名誉教授　大津留厚様をお迎えし、「青野原俘虜収容所の世界史」と題してお話しをしていただきます。
1914 年 6 月 28 日、オーストリア＝ハンガリーの帝位継承者がボスニア・ヘルツェゴヴィナの主都サライエヴォで暗殺され、その背後にセルビア政府があると考えたオーストリア＝ハンガリーがその一ヶ月後の 7 月 28 日にセルビアに宣戦布告して始まった戦争はのちに「第一次世界大戦」と呼ばれることになった。この戦争の期間、兵庫県の現在の加西市にあった青野原俘虜収容所には 500 名ほどの中欧同盟の兵士たちが捕虜として収容されていた。日本ではこの時期 6 つの大規模な捕虜収容所が設置されたが、その中で青野原にはオーストリア＝ハンガリー帝国兵士の多くが収容されるという特徴があった。彼らはなぜこの時日本で捕虜として収容されていたのだろうか。戦争の時間的経緯と収容所内での捕虜の生活実態を明らかにし、歴史に翻弄された捕虜たちの足跡を後世にお伝えすることをライフワークとして取り上げてこられたハプスブルグ帝国研究の第一人である大津留氏のお話をお聞きしたいと思います。
丁度 111 年前の 7 月に勃発した世界大戦での俘虜収容所の実態は、今日の世界各地で広がる悲惨な戦争実態と比較して看過できない大変気になる問題でもあり、世界が注目している課題でもあります。興味のある方は是非参加していただき、世界の動向について理解を深めていただきたいと思います。
皆様のご参加をお待ちしています。また、皆さまのお友達にも参加の働きかけをしていただき、ご一緒にご出席いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

◆ 日　時: **2025年7月23日(水曜日) 15:30～17:00**

◆ 場　所: 大阪公立大学　文化交流センター
大阪市北区梅田1-2-600
大阪駅前第2ビル6階

◆ テーマ: **青野原俘虜収容所の世界史**

◆ 講　師: **大津留　厚(おおつる　あつし)様**
神戸大学　名誉教授

◆ 参加料: 正会員;500 円
賛助会員＆一般;1,000 円

◆ 月例会への参加は,下記メールアドレス宛に、
お名前と月例会と懇親会それぞれの出欠をメールにてお知らせください。
klub.zukunft@gmail.com

以上